



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔SFRS〕（連結）

2024年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 オムニ・プラス・システム・リミテッド

コード番号 7699 URL <https://www.omniplussystem.co.jp/>

代表者 (役職名) 最高経営責任者 (Chief Executive Officer) (氏名) Neo Puay Keong

問合せ先責任者(役職名) 株式会社OMNI-PLUS SYSTEM Japan 代表取締役社長 (氏名) 重田 直行 (TEL) 03-6841-3922

四半期報告書提出予定日 2024年3月13日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

## 1. 2024年3月期第3四半期連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日) (千米ドル未満四捨五入)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		売上総利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%
2024年3月期 第3四半期	226,942 (32,187)	△ 12.9	30,959 (4,391)	△ 10.6	11,699 (1,659)	△ 19.7	10,453 (1,483)	△ 13.2	10,453 (1,483)	△ 13.2	10,187 (1,445)	△ 12.0
2023年3月期 第3四半期	260,580 (36,958)	9.0	34,648 (4,914)	33.7	14,569 (2,066)	△ 4.0	12,037 (1,707)	△ 8.8	12,037 (1,707)	△ 8.8	11,577 (1,642)	△ 12.7

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	米ドル (円 銭)	米ドル (円 銭)
2024年3月期 第3四半期	0.4964 (70.40)	0.4964 (70.40)
2023年3月期 第3四半期	0.5716 (81.07)	0.5716 (81.07)

(注) 「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「四半期利益」を基に算定しています。  
株式発行の詳細に関しては、4. その他(3)をご参照下さい。

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	%
2024年3月期 第3四半期	198,569 (28,163)	75,869 (10,761)	75,869 (10,761)	38.2
2023年3月期	179,668 (25,482)	70,736 (10,032)	70,736 (10,032)	39.4

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)	千米ドル (百万円)
2024年3月期 第3四半期	22,932 (3,252)	5,146 (730)	2,031 (288)	58,971 (8,364)
2023年3月期 第3四半期	7,371 (1,045)	△ 977 (△ 139)	363 (52)	29,482 (4,181)

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	合計
	米ドル (円 銭)	米ドル (円 銭)	米ドル (円 銭)	米ドル (円 銭)	米ドル (円 銭)
2023年3月期	—	0.09 (12.76)	0.15 (21.27)	—	0.24 (34.04)
2024年3月期	—	0.09 (12.76)	0.15 (21.27)		
2024年3月期 (予想)				—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) ( )の日本円は、為替レートに基づく換算値であり、JDR受益者への円建て分配金とは異なります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		売上総利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	千米ドル (百万円)	%	米ドル (円 銭)	%
2024年3月期 通期	302,000 (43,887)	△ 7.8	41,500 (6,031)	△ 4.4	14,000 (2,034)	△ 26.3	10,500 (1,526)	△ 36.1	10,500 (1,526)	△ 36.1	0.4986 (72.46)	△ 36.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2024年1月15日に通期業績予想の修正を開示しております。(2024年1月15日付適時開示「通期業績予想の修正に関するお知らせ」)

当社業績予想は米ドルで行っております。円に表示している金額は、便宜上、2024年1月12日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき1米ドル=145.32円で換算された金額です。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① SFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

①期末発行株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	21,057,844株	2023年3月期	21,057,844株
②期末自己株式数	2024年3月期3Q	0株	2023年3月期	0株
③期中平均株式数	2024年3月期3Q	21,057,844株	2023年3月期3Q	21,057,844株

(4) 本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象ではありません。

(5) 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等を保証するものではありません。実際の業績は、主要市場の経済情勢の変化や為替の変動など様々な要因により、予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料において便宜上記載されている日本円の換算は、別段の記載がある場合を除き、1米ドル=141.83円(2023年12月29日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値)により計算されています。

○添付資料の目次

1. 定性的情報	1
(1) グループ事業概要	1
(2) グループ経営成績概要	1
(3) 連結業績予想に関する情報	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 定量的情報	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結純損益及びその他の四半期包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

## 1. 定性的情報

### (1) グループ事業概要

オムニ・プラス・システムグループ（当社グループ）は、エンジニアリング・プラスチックを軸に、顧客のニーズに応じたカタログ販売や汎用品（ジェネリック）の販売を行うエンジニアリング・プラスチックの流通事業と、顧客ニーズにより深く関与して、高耐久・高耐熱、デザイン性を有する樹脂コンパウンド（混合、着色等）を行う開発・製造事業を行っています。

2023年12月末現在、当社グループは、シンガポール国内外の連結子会社20社、ジョイント・オペレーション（共同支配事業）1社、及び持分法適用会社2社で構成されています。

それぞれの事業の内容及び特徴は、次のとおりであります。当社グループの事業はエンジニアリング・プラスチック事業の単一セグメントとなっています。

#### ①流通事業

原則として当社のエンジニアリング・センター機能及び当社グループによる高機能エンジニアリング・プラスチックのコンパウンド（混合、着色等）を介さない製品の流通であり、その多くは汎用品（ジェネリック）の販売として、売上収益の約60～70%を占めています。

#### ②開発・製造事業

当社グループは、最終顧客（ブランドメーカー）が生産する家庭用電気機器、電子機器、OA機器、自動車、通信関連機器、医療機器等の製品において、筐体や内蔵部品等の部品用途のニーズに対応した素材の耐久性、耐熱性等に優れた高機能エンジニアリング・プラスチックの開発を行うほか、最終顧客（ブランドメーカー）との共同研究、さらには、A\*STAR（シンガポール科学技術研究庁）及びシンガポールの各種研究機関との共同研究を行っています。

さらに、マレーシア（ジョホール・バル）の製造子会社 Nihon Pigment Sdn. Bhd. において、最終顧客（ブランドメーカー）のニーズに基づく高耐久性、高耐熱性、或いはデザイン性を有した高機能エンジニアリング・プラスチックのコンパウンド（混合、着色等）品の製造・供給を行っています。

### (2) グループ経営成績概要

#### 財政状態計算書

##### 資産

資産合計は、前連結会計年度末と比較して18.9百万米ドル増加しました。この増加は、主に現金及び現金同等物が29.7百万米ドル増加したこと、売掛金及びその他の債権（その他の売上債権を含む）が2.2百万米ドル増加したこと、及び非流動資産（その他の売上債権を除く）が2.5百万米ドル増加したことによるものですが、棚卸資産が15.6百万米ドル減少したことにより一部相殺されています。

棚卸資産の減少は、主に当第3四半期において経営陣が仕入れを管理し、手持ちの在庫を顧客に押し出したことと、前連結会計年度末と比較して滞留在庫引当金が1.3百万米ドル増加したことによるものです。

売掛金及びその他の債権の増加は、主に前連結会計年度末時点と比較して、当第3四半期末時点での回収時期が66日から75日と9日間増加したことと、その他の債権が2.5百万米ドル増加したことによるものです。

現金及び現金同等物の増加については、主に運転資金への現金支出を前連結会計年度末時点と比較して、減少させたことによるものです。

##### 負債

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、13.8百万米ドル増加しました。この増加は、主に買掛金及びその他の債務が5.0百万米ドル増加したことと、有利子負債が9.9百万米ドル増加したことによるものですが、繰延税金負債が1.1百万米ドル減少したことにより一部相殺されています。

買掛金及びその他の債務の増加は、主に前連結会計年度末時点と比較して、当第3四半期末時点での仕入高の増加及び支払時期の違いによるものです。有利子負債の増加は、主に当第3四半期末の貿易金融の増加によるものです。

## 資本

資本合計は、前連結会計年度末の70.7百万米ドルから5.1百万米ドル増加し、75.8百万米ドルとなりました。増加の主な要因は、第3四半期累計期間の黒字化による利益剰余金が5.4百万米ドル増加したことによるものですが、2023年9月に実施した配当金の支払い1.9百万米ドル、及び2023年12月に実施した配当金の支払い3.2百万米ドルにより調整されています。

## 損益計算書

当第3四半期連結累計期間の売上収益は、226.9百万米ドルとなり前年同期比12.9%の減収となりました。ウクライナ紛争の継続と世界的なインフレ率の高さ、さらにはイスラエルとハマスの紛争により、市場心理が冷え込み、これが原因で減収につながりました。売上収益は減収となりましたが、売上総利益率は13.6%と前年同期の13.3%から微増となりました。

売上総利益は、前年同期の34.6百万米ドルに対し、当第3四半期では30.9百万米ドルとなりました。四半期利益は、前年同期の12.0百万米ドルから10.5百万米ドルへ減益となりました。四半期利益の減益は、主に金融費用と営業費用の増加によるものです。

営業費用(販売費、管理費及びその他の営業費用を含む)は、前年同期の18.6百万米ドルから0.2百万米ドル(1.1%)増加し、18.8百万米ドルとなりました。

金融費用は、3.2百万米ドルとなり、前年同期の2.2百万米ドルから48.5%の増加となりました。この増加は、主にシンガポールにおける銀行金利の上昇及び銀行の貿易金融枠の利用増加によるものです。

その他の収益は、前年同期の0.6百万米ドルより1.9百万米ドル(335.8%)増加して2.5百万米ドルとなりましたが、この増加は主に、設備・不動産の処分益および第三者への機械の解体・委託を提供するためのサービス料によるものです。

税金費用は、前年同期の2.5百万米ドルより50.8%減少して1.2百万米ドルとなりました。この減少は、主に繰延税金資産の認識額が増加したこと及び税金費用の過大計上の戻入によるものです。

## キャッシュ・フロー計算書

2023年12月31日現在における現金及び現金同等物は、前年同期末の29.5百万米ドルから29.5百万米ドル増加し、59.0百万米ドルとなりました。また、2023年12月31日現在の定期預金額は、3.7百万米ドルとなりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、22.9百万米ドルの収入となりました。運転資本増減考慮前営業利益は16.4百万米ドルとなり、8.9百万米ドルの運転資本のプラス変動と2.4百万米ドルの法人所得税の支払により一部相殺されました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5.1百万米ドルの収入となりました。この主な内訳は、有形固定資産の処分による収入6.8百万米ドル、子会社取得による支出0.4百万米ドル、利息の受取額0.1百万米ドルとなりましたが、これらは、関連会社への投資の増加0.6百万米ドル及び有形固定資産の取得による支出1.6百万米ドルにより一部相殺されました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2.0百万米ドルの収入となりました。これは主に、有利子負債からの純収入10.4百万米ドル、担保に供されている定期預金の増加0.1百万米ドルによるものですが、配当金の支払い5.1百万米ドル及び利息の支払い3.2百万米ドルにより一部相殺されました。

**(3) 連結業績予想に関する情報**

第2四半期の決算短信発表時点では、新型コロナウイルス感染症収束後の世界的な需要回復を前提にして売上見通しを立てていました。下半期の予想売上と利益は堅調に推移すると予測していましたが、ウクライナ紛争が終結せず、さらに昨年10月にはイスラエルとハマスの紛争が勃発しました。こうした事態は、世界経済の見通しにさらなる影響を及ぼし、需要やサプライチェーンの効率、それに伴う営業コストにも影響を与えています。このような状況において、最終顧客からの需要減速の情報と材料価格の下落により、2024年1月15日に2024年3月期通期業績予想を修正しました。

2024年3月期通期連結業績予想の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上収益	売上総利益	税引前利益	当期利益	基本的1株 当たり当期利益
前回発表予想 (A)	千米ドル (百万円) 389,600 (56,617)	千米ドル (百万円) 48,100 (6,990)	千米ドル (百万円) 20,100 (2,921)	千米ドル (百万円) 17,400 (2,529)	米ドル (円 銭) 0.8267 (120.14)
今回修正予想 (B)	302,000 (43,887)	41,500 (6,031)	14,000 (2,034)	10,500 (1,526)	0.4986 (72.46)
増減額 (B-A)	△87,600 (△12,730)	△6,600 (△959)	△6,100 (△886)	△6,900 (△1,003)	
増減率 (%) (ご参考)	△22.5	△13.7	△30.3	△39.7	
前期連結実績	327,701 (47,622)	43,420 (6,310)	19,007 (2,762)	16,435 (2,388)	0.7805 (113.42)

(注1) 当社業績予想は米ドルで行っております。円で表示している金額は、便宜上、2024年1月12日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買取相場の仲値に基づき1米ドル=145.32円で換算された金額であります。

(注2) 当社は、個別での財務諸表を作成しておりませんので、連結業績予想のみを開示しております。

当社は、これらの影響が2024年3月期中は続く想定しており、2024年3月期の当期利益の水準や、管理費及び金融費用については、引き続き慎重な見方をしています。今後も引き続き既存顧客と緊密に連携しながら、新たな市場や潜在的な顧客との取引機会を模索すると同時に、コストの抑制に努めてまいります。今後、業績予想に影響を与えるような市場の急変が起こった場合には、適時適切に開示いたします。

詳細につきましては、2024年1月15日付適時開示「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照願います。

**2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方**

当社は、一般に公正妥当と認められた国際会計基準(IFRS)に準拠するシンガポール財務報告基準(SFRS)を採用しています。

### 3. 定量的情報

#### (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2023年3月31日)		当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
<b>資産</b>				
有形固定資産	17,713	2,512	19,774	2,805
使用権資産	618	88	504	71
関連会社株式	1,495	212	2,356	334
無形資産及びのれん	4,747	673	4,385	622
その他の売上債権	603	86	677	96
繰延税金資産	344	49	420	60
<b>非流動資産</b>	<b>25,521</b>	<b>3,620</b>	<b>28,116</b>	<b>3,988</b>
棚卸資産	59,386	8,423	43,742	6,204
売掛金及びその他の債権	61,791	8,764	64,023	9,080
現金及び現金同等物	32,970	4,676	62,689	8,891
<b>流動資産</b>	<b>154,147</b>	<b>21,863</b>	<b>170,454</b>	<b>24,175</b>
<b>資産合計</b>	<b>179,668</b>	<b>25,482</b>	<b>198,569</b>	<b>28,163</b>
<b>資本</b>				
資本金	26,074	3,698	26,074	3,698
為替換算調整勘定	△ 511	△ 73	△ 777	△ 110
利益剰余金	45,174	6,407	50,573	7,173
親会社の所有者に帰属する持分	70,736	10,032	75,869	10,761
非支配持分	-	-	0	0
<b>資本合計</b>	<b>70,736</b>	<b>10,032</b>	<b>75,869</b>	<b>10,761</b>
<b>負債</b>				
その他の債務	103	15	209	30
長期有利子負債	11,954	1,695	12,777	1,812
繰延税金負債	507	72	450	64
<b>非流動負債</b>	<b>12,563</b>	<b>1,782</b>	<b>13,436</b>	<b>1,906</b>
買掛金及びその他の債務	38,406	5,447	43,359	6,150
短期有利子負債	54,468	7,725	63,498	9,006
未払税金	3,495	496	2,408	342
<b>流動負債</b>	<b>96,369</b>	<b>13,668</b>	<b>109,264</b>	<b>15,497</b>
<b>負債合計</b>	<b>108,932</b>	<b>15,450</b>	<b>122,700</b>	<b>17,403</b>
<b>資本及び負債合計</b>	<b>179,668</b>	<b>25,482</b>	<b>198,569</b>	<b>28,163</b>

(2) 要約四半期連結純損益及びその他の四半期包括利益計算書

	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	(自2022年4月1日 至2022年12月31日)		(自2023年4月1日 至2023年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	260,580	36,958	226,942	32,187
売上原価	△ 225,932	△ 32,044	△ 195,983	△ 27,796
<b>売上総利益</b>	<b>34,648</b>	<b>4,914</b>	<b>30,959</b>	<b>4,391</b>
その他の収益	572	81	2,503	355
販売費	△ 4,893	△ 694	△ 4,253	△ 603
管理費	△ 7,675	△ 1,089	△ 8,113	△ 1,151
その他の営業費用	△ 6,037	△ 856	△ 6,436	△ 913
金融費用	△ 2,168	△ 307	△ 3,219	△ 457
持分法による投資損益	122	17	259	37
<b>税引前四半期利益</b>	<b>14,569</b>	<b>2,066</b>	<b>11,699</b>	<b>1,659</b>
税金費用	△ 2,532	△ 359	△ 1,246	△ 177
<b>四半期利益</b>	<b>12,037</b>	<b>1,707</b>	<b>10,453</b>	<b>1,483</b>
<b>四半期利益の帰属：</b>				
親会社の所有者	12,037	1,707	10,453	1,483
非支配持分	-	-	0	0
<b>四半期利益</b>	<b>12,037</b>	<b>1,707</b>	<b>10,453</b>	<b>1,483</b>
その他の包括利益 純損益に振り替えられる 可能性がある項目：				
在外営業活動体の外貨換算差額	△ 469	△ 65	△ 268	△ 38
投資による外貨換算差額	9	1	2	0
<b>その他の包括利益</b>	<b>△ 460</b>	<b>△ 65</b>	<b>△ 266</b>	<b>△ 38</b>
<b>四半期包括利益</b>	<b>11,577</b>	<b>1,642</b>	<b>10,187</b>	<b>1,445</b>
<b>四半期包括利益の帰属：</b>				
親会社の所有者	11,577	1,642	10,187	1,445
非支配持分	-	-	0	0
<b>四半期包括利益</b>	<b>11,577</b>	<b>1,642</b>	<b>10,187</b>	<b>1,445</b>



(3) 要約四半期連結持分変動計算書

グループ	会社の所有者に帰属する持分 (単位: 千米ドル ( ) 百万円)			
	資本金	為替換算 調整勘定	利益剰余金	資本合計
2022年4月1日 残高	26,074 (3,698)	△ 48 (△ 7)	33,793 (4,793)	59,818 (8,484)
<b>四半期包括利益合計</b>				
四半期利益	- (-)	- (-)	12,037 (1,707)	12,037 (1,707)
<b>その他の包括利益</b>				
外貨換算差額	- (-)	△ 460 (△ 65)	- (-)	△ 460 (△ 65)
<b>その他の包括利益合計</b>	- (-)	△ 460 (△ 65)	- (-)	△ 460 (△ 65)
<b>四半期包括利益合計</b>	- (-)	△ 460 (△ 65)	12,037 (1,707)	11,577 (1,642)
<b>資本に直接認識される 所有者との取引額 所有者による拠出及び 所有者への分配</b>				
配当金	- (-)	- (-)	△ 5,054 (△ 717)	△ 5,054 (△ 717)
<b>所有者による拠出及び 所有者への分配額合計</b>	- (-)	- (-)	△ 5,054 (△ 717)	△ 5,054 (△ 717)
2022年12月31日 残高	26,074 (3,698)	△ 509 (△ 72)	40,766 (5,783)	66,341 (9,409)

会社の所有者に帰属する持分

(単位：千米ドル( )百万円)

グループ	資本金	為替換算 調整勘定	利益剰余金	非支配持分	資本合計
2023年4月1日 残高	26,074 (3,698)	△ 511 (△ 73)	45,174 (6,407)	- (-)	70,736 (10,032)
<b>四半期包括利益合計</b>					
四半期利益	- (-)	- (-)	10,453 (1,483)	0 (0)	10,453 (1,483)
<b>その他の包括利益</b>					
外貨換算差額	- (-)	△ 266 (△ 38)	- (-)	△ 0 (△ 0)	△ 266 (△ 38)
<b>その他の包括利益合計</b>	- (-)	△ 266 (△ 38)	- (-)	△ 0 (△ 0)	△ 266 (△ 38)
<b>四半期包括利益合計</b>	- (-)	△ 266 (△ 38)	10,453 (1,483)	0 (0)	10,187 (1,445)
<b>資本に直接認識される 所有者との取引額 所有者による拠出及び 所有者への分配</b>					
配当金	- (-)	- (-)	△ 5,054 (△ 717)	- (-)	△ 5,054 (△ 717)
<b>拠出及び分配額合計</b>	- (-)	- (-)	△ 5,054 (△ 717)	- (-)	△ 5,054 (△ 717)
<b>所有持分の変動</b>					
非支配持分を持つ 子会社の取得	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
<b>所有持分の変動合計</b>	- (-)	- (-)	- (-)	0 (0)	0 (0)
<b>所有者との取引額合計</b>	- (-)	- (-)	△ 5,054 (△ 717)	0 (0)	△ 5,054 (△ 717)
2023年12月31日 残高	26,074 (3,698)	△ 777 (△ 110)	50,573 (7,173)	0 (0)	75,869 (10,761)

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
<b>税引前利益</b>	14,569	2,066	11,699	1,659
<b>調整:</b>				
棚卸資産陳腐化引当金	2,179	309	1,313	186
無形資産償却費	362	51	362	51
有形固定資産償却費	923	131	850	121
使用権資産償却費	150	21	291	41
有形固定資産売却益	△ 4	△ 1	△ 1,387	△ 197
受取利息	△ 28	△ 4	△ 125	△ 18
支払利息	2,168	307	3,219	457
棚卸資産の除却	19	3	△ 9	△ 1
有形固定資産の除却	4	1	-	-
売掛金の減損	-	-	563	80
貸倒引当金戻入額	△ 77	△ 11	-	-
関連会社の損益	△ 122	△ 17	△ 259	△ 37
未実現為替差益	△ 15	△ 2	△ 74	△ 10
<b>運転資本の増減考慮前営業利益</b>	20,129	2,855	16,444	2,332
<b>運転資本の変動:</b>				
-棚卸資産	△ 3,152	△ 447	15,525	2,202
-売掛金及びその他の債権	△ 10,673	△ 1,514	△ 1,713	△ 243
-買掛金及びその他の債務	1,411	200	△ 4,918	△ 698
営業活動によるキャッシュ・フロー 小計	7,715	1,094	25,337	3,594
法人所得税の支払額	△ 344	△ 49	△ 2,405	△ 341
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	7,371	1,045	22,932	3,252
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
利息の受取額	28	4	125	18
有形固定資産の取得による支出	△ 478	△ 68	△ 1,551	△ 220
子会社取得による支出	△ 337	△ 48	374	53
有形固定資産の処分による収入	4	1	6,798	964
関連会社への投資の増加	△ 194	△ 27	△ 600	△ 85
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 977	△ 139	5,146	730
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
担保に供されている定期預金の増減額	△ 703	△ 100	147	21
取締役に対する報酬額の減額	7	1	-	-
有利子負債による収入	157,609	22,354	122,743	17,409
有利子負債の返済	△ 149,726	△ 21,236	△ 112,333	△ 15,932
リース負債の返済	△ 143	△ 20	△ 320	△ 45
配当金の支払額	△ 5,054	△ 717	△ 5,054	△ 717
利息の支払額	△ 1,626	△ 231	△ 3,153	△ 447
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	363	52	2,031	288
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	6,758	958	30,108	4,270
現金及び現金同等物の期首残高	23,212	3,292	29,105	4,128
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 489	△ 69	△ 242	△ 34
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	29,482	4,181	58,971	8,364

財務諸表における現金及び現金同等物の内訳

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
財政状態計算書における 現金及び現金同等物	33,359	4,731	62,689	8,891
定期預金(担保付)	△ 3,878	△ 550	△ 3,718	△ 527
キャッシュ・フロー計算書における 現金及び現金同等物	29,482	4,181	58,971	8,364

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 会計方針の変更

中間財務諸表の作成において採用された会計方針は、当社グループの2023年3月31日に終了した年次財務諸表に採用され、記載されたものと一致しています。

2023年4月1日に開始する会計年度から適用されるFRS、及びFRSの改正及び解釈指針の適用は、当社グループの中間連結財務諸表に重要な影響を与えるものではありません。

3. セグメント情報

当社グループは「エンジニアリング・プラスチック事業」のみの単一セグメントであり、同事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

製品区分ごとの収益

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
ジェネリック (汎用) プラスチック	155,317	22,029	137,538	19,507
スペシャリティ (特殊) プラスチック	105,263	14,929	89,404	12,680
合計	260,580	36,958	226,942	32,187

4. 2024年3月期第3四半期における新規連結子会社

2023年12月11日、子会社としてDP Technology ShenZhen Limitedを中華人民共和国に設立しました。DP Technology ShenZhen Limitedは、既存の子会社であるDP Chemicals Pte. Ltd.の100%子会社となります。